学校番号	1009

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究（後）	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「精選古典探究」　（第一学習社）						
副教材等	「読解をたいせつにする　要点プラス　体系古典文法」　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「古典探究（前）」で学んだ知識をより一層深め、先人のものの見方や感じ方を味わいましょう。
・古典作品に親しみ、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査には学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力などを伸ばし、古典など通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典を読むのに必要な語句の意味や用法、文章の構成、修辞などを理解し、知識を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	主従のやりとりを通してどのような教訓を伝えようとしたのか、編者の意図を考えながら内容を読み味わう。 ［教材］ 『十訓抄』 「祭主三位輔親の侍、鶯を召しとどむる事」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 c：登場人物のやり取りを学習課題に沿って整理し、この話から読み取れる教訓について進んで伝え合おうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。 ［教材］ 『枕草子』 「宮に初めて参りたるころ」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：本文の背景にある宮廷生活の様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『無名草子』 「清少納言」	a：古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：二人の女性作家に関する人物評の構成や内容を粘り強く整理し、理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
2	歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『大鏡』 「三舟の才」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 c：今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『源氏物語』 「夕顔の死」 「紫の上の死」	a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：話の展開や構成を整理し、進んで内容の理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
	能楽について述べた評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『風姿花伝』	a：古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート

		c: 本文から得られる人の生き方一般に通じる教訓について考え、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。			
	自身の前半生を赤裸々に描いた日記を読み、不義の子の出産という特異な状況における男女の思いを読み解く。 ［教材］ 『とはずがたり』 「秘密の出産」	a:古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確にとらえている。 c:中世の日記を読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート
3	作り物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 『とりかへばや物語』 「父大納言の苦悩」	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている c:さまざまな物語を積極的に読み、進んで話の展開や登場人物の心理について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査	ワークシート 振り返りシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間